

# 給食

## だより 11月号

平成24年度 11月号

品川区立浅間台小学校

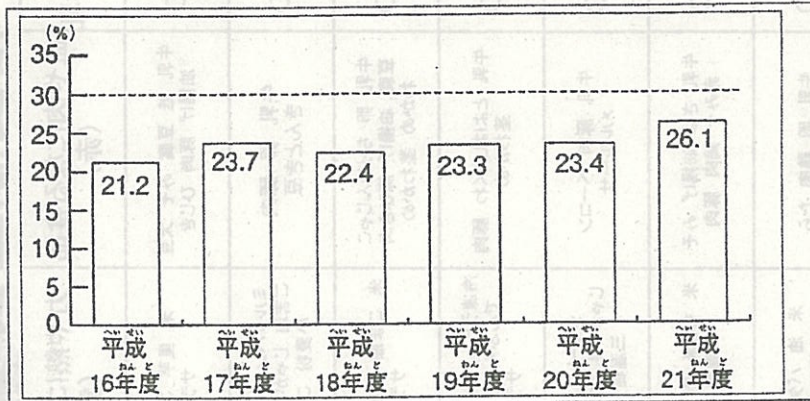
校長 豊島 呈次

みなさんは、地域で生産したものを地域で消費するという意味を持つ「地産地消」という言葉を聞いたことがありますか？ 地産地消は、安心安全で新鮮な食べ物が食べられるだけでなく、食料自給率の向上にもつながります。地域の生産者が心を込めてつくった地場産物について子どもたちと話してみたいかたがででしょうか？

全国で地産地消の輪が広がっています

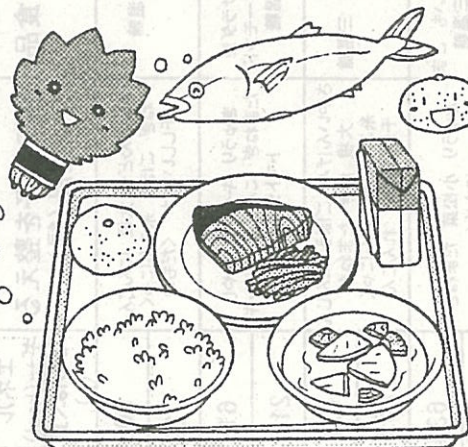
地場産物がおいしい給食に！

学校給食における地場産物活用の全国平均の推移



資料 文部科学省「学校給食における地場産物の活用状況」より作成

目指せ  
30%!

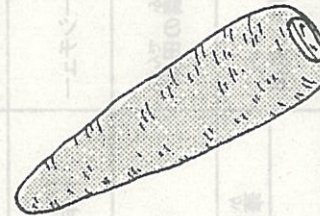


子どもたちが毎日楽しみにしている学校給食には、地域の生産者の方々がかたがた丹精込めてつくったさまざまな地場産物をたくさん取り入れています。この取り組みは、全国ですすめられており、食育基本法に基づく食育推進基本計画では、平成22年度までに、地場産物の活用の目標を30%以上としています。

子どもたちは、身近な学校給食を通して地域の食文化や食に関する産業などについて理解を深めています。

### 毎月の注目食品

## にんじん



にんじんは、β-カロテンを豊富に含んでいます。β-カロテンは体内でビタミンAに変わり、皮膚や粘膜を正常に保ち免疫力を高め、かぜなどの感染症にかかりにくくする働きがあります。

購入する時は、鮮やかなオレンジ色をしていて、皮にはりとつやがあるものを選びましょう。

## 地場産物を食べよう！



地場産物を献立に取り入れることは、多くの教育的意義があります。ご自宅の食卓にもぜひ取り入れてください。

①児童生徒が、より身近に、実感をもって地域の自然、食文化、産業等についての理解を深めることができる。

②食料の生産、流通等に当たる人々の努力をより身近に理解することができる。

③地場産物の生産者や生産過程等を理解することにより、食べ物への感謝の気持ちを抱くことができる。

④「顔が見え、話ができる」生産者等により生産された新鮮でより安全な食材を確保することができる。

⑤流通に要するエネルギーや経費の節減、包装の簡素化等により安価に食材を購入することができる場合があるとともに、環境保護に貢献することができる。

⑥生産者等の側で学校給食をはじめとする学校教育に理解が深まり、学校と地域との連携・協力を構築することができる。

⑦地域だけでなく、日本や世界を取り巻く食料の状況や、食料自給率に関する知識や理解を深め、児童生徒の学習意欲を向上させることができる。